日本留学

ASEAN国別 基本情報 2025

日本留学促進のための海外ネットワーク機能強化事業(東南アジア)

日本留学促進のための海外ネットワーク機能強化事業（東南アジア）について

事業概要

岡山大学は、これまで10年に亘って実施した文部科学省「留学コーディネータ配置事業（ミャンマー）」（平成26年度～平成30年度）および、「日本留学海外拠点連携推進事業（東南アジア地域）」（平成31年度～令和５年度）の実績に基づき、令和６年度より文部科学省「日本留学促進のための海外ネットワーク機能強化事業（東南アジア）」を受託しました。「教育未来創造会議」が提言した「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ」で掲げられた、令和15年までに本邦の外国人留学生数（高等学校を除く）38万人を達成するという目標実現に貢献するべく東南アジア（ASEAN）地域からの留学生数を、５年間で２倍（103,861人）にすることを目指して事業を進めています。

実施体制

令和７年11月現在、インドネシア（ジャカルタ、スラバヤ、インドネシア大学）、マレーシア（クアラルンプール）、ミャンマー（ヤンゴン、マンダレー）、タイ（バンコク）、カンボジア（プノンペン）、ラオス（ビエンチャン）に事務所を構え、インドネシアとマレーシアを最重点国として９拠点からASEAN諸国の優秀な留学生獲得に向けて事業に取り組んでいます。
具体的には、これまで培ってきた経験やノウハウ、また、国立六大学（千葉大学、新潟大学、金沢大学、岡山大学、長崎大学、熊本大学）、独立行政法人日本学生支援機構や各協力機関のリソースを活用することで、ASEAN諸国から日本へ留学を希望する学生らへの更なる支援・助言を行ってまいります。

岡山大学 OKAYAMA UNIVERSITY

six ers

JASSO

STUDY in JAPAN for ASEAN

海外拠点

①ヤンゴン事務所
②マンダレー事務所
③バンコク事務所
④プノンペン事務所
⑤ビエンチャン事務所
⑥スラバヤ事務所
⑦ジャカルタ事務所
⑧インドネシア大学事務所
⑨マレーシア事務所
（拠点設置順）

日本留学促進に向けた取り組み

ASEAN諸国を対象とした、日本留学の魅力を伝えるためのフェア・セミナーの開催、現地大学・教育機関や学生への日本留学の具体的な情報提供、日本および現地関連機関とのネットワーキング等により、オールジャパンでの日本留学促進に取り組んでいます。

◆日本留学の魅力の発信

- 留学フェア・各種留学セミナーの主催、共催、参加
- 現地大学・教育機関への訪問
- 個別留学相談対応

◆日本留学の具体的な情報提供

- SNSおよびウェブページの活用（日本留学・就職情報、現地情報を日々発信）
- 現地教育情報誌への日本留学関連記事掲載
- 日本の大学・教育機関情報、奨学金情報の収集と提供
- 日本留学試験、日本語能力試験等の広報協力
- 日本留学経験インタビューの実施、動画掲載

◆関連機関との協力関係構築

- 現地の教育機関・日本関係機関とのネットワーク構築
- 日本の大学等との連携（イベントでの協力、マッチング支援、渡日前入試の実施支援）
- 元日本留学生協会や、留学生・卒業生との連携

◆連携先例

- 現地関係省庁
- 現地の高等教育機関
- ASEAN University Network（AUN）
- ミャンマー人材育成支援産学官連携ぷらっとフォーム
- 現地の日本関係機関（日本企業、カンボジア日本人材開発センター、ラオス日本センター等）
- 元日本留学生協会
- 在外公館　など

日本国内の高等教育機関との連携

ASEAN諸国の留学生獲得に積極的な高等教育機関様との連携事例をご紹介します。
当事業にご関心をお持ちいただける場合は、ぜひお気軽にご連絡ください。

◆大学案内等の設置

拠点事務所において、国内高等教育機関の学校案内パンフレット等を配架しています。訪問者は自由に閲覧・持ち帰りでき、学生からの相談対応時にも活用しています。

◆SNSでの広報協力

ASEAN地域および各国向けの公式SNSを通じて、主に英語で学位取得が可能な高等教育機関の紹介、入試情報、奨学金制度、各種セミナー情報や、留学生の体験談などを発信しています。

◇当事業で運用しているSNSアカウントは、以下のリンクよりご確認いただけます。

https://linktr.ee/studyinjapan_asean

◆フェア・セミナーの開催

各国別やASEAN全体を対象としたフェアやセミナー（オンライン・対面・ハイブリッド）を開催しています。2024年度は延べ150機関以上にご協力いただき、34,850名に日本留学情報をお届けしました。

◆ASEAN現地事情の提供

日本留学説明会をはじめ、留学コーディネーターが収集した最新情報を適宜提供しています。
また、ASEAN地域での留学生リクルートをご検討中の教育機関様からのご相談にも対応しております。

インドネシア

インドネシア共和国は、赤道付近に位置し、約18,000の島々から成る世界有数の島嶼国家です。ASEAN加盟国の中で最大の人口を誇り、約2億7,000万人を抱える東南アジアの大国でもあります。日本とインドネシアは、特に経済分野において長年にわたり緊密な関係を築いてきました。日本はインドネシアにとって輸出入や投資の主要な相手国であり、両国の経済協力は地域の発展に大きく寄与しています。また、こうした友好関係の中で、インドネシアでは親日感情が広く根付いています。

基本情報

◆人口　：約2.83億人（2024 世界銀行）
◆首都　：ジャカルタ
◆公用語：インドネシア語
◆宗教　：イスラム教 87%、キリスト教 10.4%、
　　ヒンドゥー教 1.7%、仏教 0.7% 等
◆GDP成長率：５％（2024 世界銀行）
◆１人あたり名目GDP：$4,925.4（2024 世界銀行）
　　ASEAN第5位/10カ国

教育制度・状況

6-3-3制。初等教育６年間、前期中等教育３年間、後期中等教育３年間、高等教育４年間。義務教育は９年間。

総就学率

後期中等教育	高等教育
94.05%	45%

高等教育年齢人口

19-23歳
2,182万8千人
（2023 UNESCO）

英語教育

第一外国語は英語で、前期中等教育（中学校）から必修科目として教えられている。

EN 国際的な大学入試出願対応

・**IBディプロマ（認定校50校）**
Bali Island School, Bandung Independent School, Gandhi Memorial Intercontinental School Jakarta 等
・**GCE-Aレベル**

日本との関係

1960年代には、高等教育機関を中心に日本語教育が展開されていましたが、1980年代以降、後期中等教育（高校）での日本語教育が盛んになり、学習者の大部分は高校生となっています。2014年度より日本語パートナーズによる高等学校における日本語教育支援が開始されました。

日本語学習者

世界２位
711,732人
（2021 日本語教育機関調査）

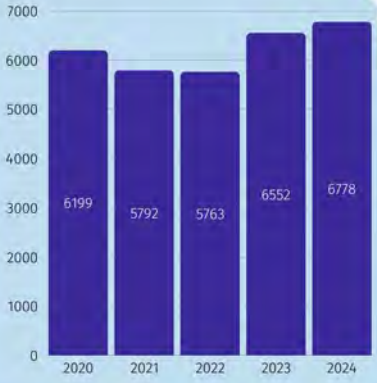
日系企業拠点数

2,409社
（2024 外務省）

日本語能力試験（JLPT）受験者

2024年	2019年
42,417人（年２回合計）	26,703人（年２回合計）

留学生データ



日本への留学生数

6,778人
（2024 日本学生支援機構）

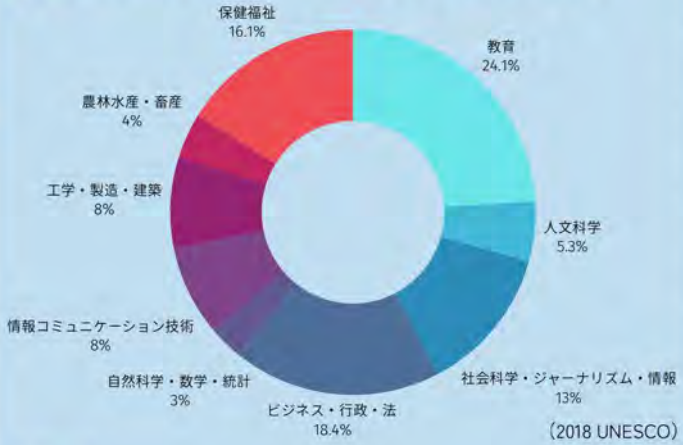
海外への留学生数

63,000人

海外留学生比率

1％
（2023 UNESCO）

高等教育修了生の分野別分布



（2018 UNESCO）

主要大学：

インドネシア大学（46位）、ガジャ・マダ大学（53位）、バンドン工科大学（59位）、ボゴール農科大学（92位）、ビナス大学（204位）
（QSアジア大学ランキング2025）

留学生の声

Jereさん
北海道大学
Life Science/Protein Biophysics

生命科学分野における日本の高度な研究環境と先進的な設備に魅力を感じ、留学を決意しました。留学当初は言語の壁や文化の違いにより、日常会話や研究発表に苦労しましたが、国際的なコミュニティに積極的に参加し、日本語力を高めることで、自信と人とのつながりを築くことができました。日本での留学は、学術的にも個人的にも非常に実りある経験であり、最先端の科学だけでなく、調和・忍耐・相互尊重の大切さも学ぶことができました。

マレーシア

マレーシアは、イスラム教を信仰するマレー系が人口の多数を占める一方で、中華系やインド系など多様な民族が、それぞれの文化や伝統を尊重しながら共生する多民族国家です。1980年代には、当時のマハティール首相が「ルック・イースト政策」を掲げ、日本の集団主義や勤労倫理を学ぶことを奨励しました。
日本とマレーシアは長年にわたり緊密な友好関係を築いており、現在では互いに重要な貿易・投資パートナーとして経済面でも強い結びつきを持っています。

基本情報

◆人口　：約3,555万人（2024 世界銀行）
◆首都　：クアラルンプール
◆公用語：マレー語（国語）、中国語、タミール語、英語
◆宗教　：イスラム教 64%、仏教 19%、キリスト教 9%、ヒンドゥー教 6%、その他 2%
◆GDP成長率 ：5.1%（2024 世界銀行）
◆１人あたり名目GDP：$11,867.3（2024 世界銀行）
ASEAN第３位/10カ国

教育制度・状況

6-5制。高等教育機関としては、ポリテクニック（２～３年間）、師範学校（４年間）、カレッジ（２～３年間）、大学（３～６年間）がある。

総就学率

後期中等教育	高等教育
73.85%	41%

高等教育年齢人口

18-22歳
275万3千人
（2023 UNESCO）

英語教育

中等教育以降は私立学校を除いてマレー語が教育言語。
但し、学校裁量によりマレー語あるいは英語のいずれかの言語もしくは両言語併用で授業が行われている。英語の授業時間数が増やされるなど、英語力の強化は重視されている。

EN 国際的な大学入試出願対応

- **IBディプロマ（認定校17校）**
  Fairview International School Kuala Lumpur,
  IGB International School, Mont'Kiara International School 等
- **GCE-Aレベル**
  Charterhouse Malaysia, Taylor's College 等

日本との関係

「ルック・イースト政策」により、日本留学を目標としたいくつかの予備教育プログラムがあります。中等教育段階における学習者数が全体の約半数を占めています。
1984年に中等教育機関6校で開始された日本語教育は、2024年３月現在約140校で行われています。

日本語学習者

世界10位
38,129人
（2021 日本語教育機関調査）

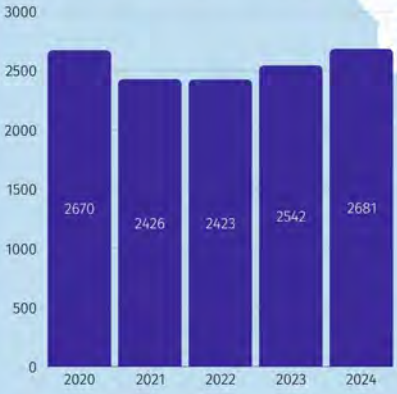
日系企業拠点数

1,643社
（2024 外務省）

日本語能力試験（JLPT）受験者

2024年	2019年
4,909人（年２回合計）	4,195人（年２回合計）

留学生データ



日本への留学生数

2,681人
（2024 日本学生支援機構）

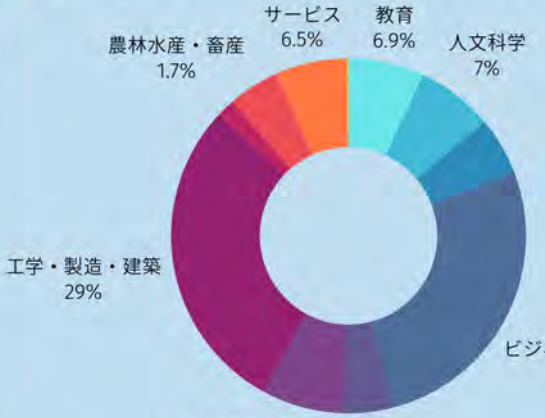
海外への留学生数

48,000人

海外留学生比率

4％
（2023 UNESCO）

高等教育修了生の分野別分布



（2023 UNESCO）

主要大学：
マラヤ大学（12 位）、マレーシアプトラ大学（20位）、
マレーシア国民大学（26位）、ペトロナス工科大学（53 位）、
トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学（131位）
（QSアジア大学ランキング2025）

留学生の声

YANZHEさん
東洋大学
経営学部マーケティング学科

大学進学前に受けたEJU試験が一番の挑戦でしたが、家族や友人の励ましで努力し、夢の大学に合格することができました。日本は同じアジアの国なので、マレーシア人にとって食文化に馴染みやすく、また、多言語国の出身であることも大きな強みです。

フィリピン

フィリピン共和国は、約7,100の島々からなる島嶼国です。人口の93%がキリスト教を信仰し、ASEAN唯一のキリスト教国として知られていますが、ミンダナオを中心にイスラム教徒がおよそ５%を占めています。日本にとってフィリピンは、シーレーンを共有する海洋国家として、地政学的にも重要な存在です。経済面での成長のポテンシャルが高く、若く優秀な労働力を豊富に有しています。

基本情報

◆人口　：約１億1,584万人（2024 世界銀行）
◆首都　：マニラ
◆公用語：フィリピノ語、英語
◆宗教　：カトリック 83%、その他のキリスト教 10%、
　　イスラム教 ５% 等
◆GDP成長率：5.7% (2024 世界銀行)
◆１人あたり名目GDP：$3,984 (2024 世界銀行)
　　ASEAN第７位/10カ国

教育制度・状況

基礎教育はK-6-4-2制。中等教育は、2016年以降、４年間から後期中等教育を含む６年間に延長された。高等教育の就学年数は専攻分野によって異なるが、一般的には４年間、工学部は５年間。

総就学率

後期中等教育	高等教育
93.85%	45%

高等教育年齢人口

18-22歳
1,058万3千人
（2023 UNESCO）

英語教育

第一外国語（公用語）は英語。初等教育１年生の３学期から開始され、４年生以降は理系科目が、中等教育からは技術家庭等の授業も英語で実施される。

EN 国際的な大学入試出願対応

- **IBディプロマ（認定校26校）**
  The British School -Manila, International School Manila Brent, International School- Manila 等
- **GCE-Aレベル**

日本との関係

フィリピンでは、日本との経済格差と地理的近接から、日本語は観光業関連や就労目的という限定的な動機によって学ばれてきました。近年になって、若い世代の間に日本のアニメやポップカルチャーに対する興味から、日本語を学び始める学習者が増加し、日本語教育の裾野を広げています。

日本語学習者

世界９位
44,457人
（2021 日本語教育機関調査）

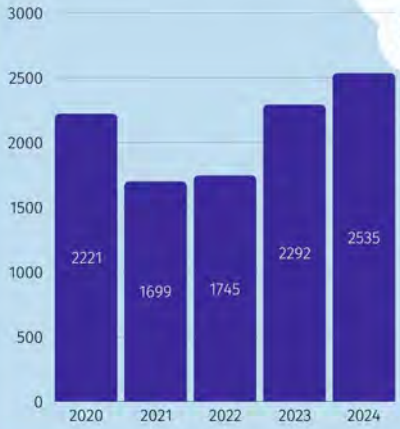
日系企業拠点数

1630社
（2024 外務省）

日本語能力試験（JLPT）受験者

2024年	2019年
13,374人（年２回試験合計）	**20,119人**（年２回試験合計）

留学生データ



日本への留学生数

2,535人
（2024 日本学生支援機構）

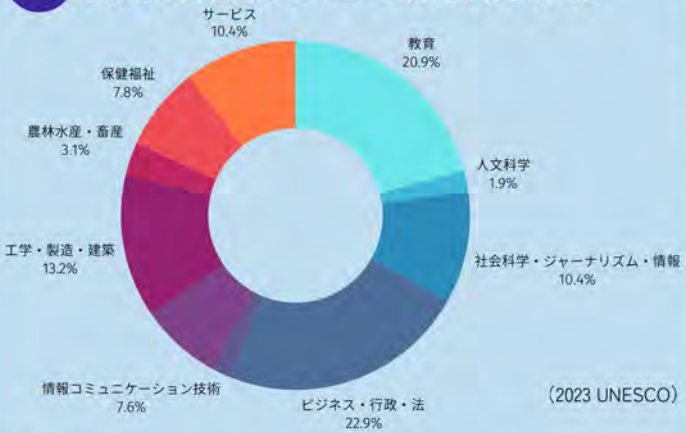
海外への留学生数

30,000人

海外留学生比率

１%
（2023 UNESCO）

高等教育修了生の分野別分布



（2023 UNESCO）

主要大学：
フィリピン大学（86位）、アテネオ・デ・マニラ大学（142位）、デ・ラ・サール大学（163位）、聖トーマス大学（181位）、エンデラン大学（QSアジア大学ランキング2025）

留学生の声

CATOLOSさん
京都先端科学大学
機械電機システム工学科

コロナ禍中に一人で渡航し、初めての海外生活で孤独や自立の難しさを経験しましたが、自分の目標を常に意識することで乗り越えました。
生活の立ち上げには、言語面や手続きの面で困難がありましたが、自分の日本語力を信じ、計画通りに物事が進むよう粘り強く対応しました。

シンガポール

シンガポール共和国は、東洋と西洋が交差するマレー半島南端、ジョホール海峡に面した都市国家です。中華系をはじめ、マレー系、インド系など多様な民族が共存し、言語や宗教の調和によって独自の文化を形成しています。
高付加価値の製造業に加え、金融、情報通信、バイオテクノロジーなど先端産業の育成に注力し、ASEANのみならず世界経済を牽引する存在です。卓越したインフラを備えることで、国際金融と貿易の中心地としての地位を確立しています。

基本情報

◆人口　：約603.6万人（2024 世界銀行）
◆公用語：マレー語、英語、中国語、タミール語
◆宗教　：仏教、キリスト教、イスラム教、道教、ヒンドゥー教
◆GDP成長率：4.4%（2024 世界銀行）
◆１人あたり名目GDP：$90,674 (2024 世界銀行)
ASEAN第１位/10カ国

教育制度・状況

6-4(5)-2制。初等教育６年間、前期中等教育４～５年間、後期中等教育２年間（ジュニアカレッジ）またはポリテクニック（高等専門学校）２～３年間、高等教育３～５年間。

総就学率

後期中等教育	高等教育
70.77%	98%

高等教育年齢人口

16-20歳
20万3千人
（2023 UNESCO）

英語教育

1973年より二言語教育政策が導入され、初等教育１年生以降、後期中等教育まで英語と母語（中国語、マレー語、タミール語から自分の民族の言語を選択）を必修で学ぶ。

EN 国際的な大学入試出願対応

- **IBディプロマ（認定校40校）**
  St. Joseph's Institution International, One World International School, Dover Court International School 等
- **CGE-Aレベル**
  Tanglin Trust School 等

日本との関係

1980年代後半より、日本企業の進出による第一次日本語学習ブームを迎え、日本語学習熱が高まりました。1999年以降、日本のテレビドラマ・アニメ・マンガ・J-POP・ファッション等による第二次日本語ブームを迎え、日本語学習者数は再び上昇しました。

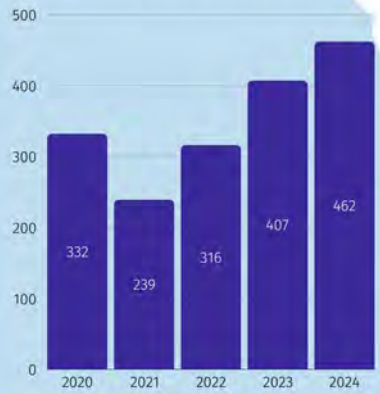
日本語学習者
世界21位
10,837人
（2021 日本語教育機関調査）

日系企業拠点数
4,558社
（2024 外務省）

日本語能力試験（JLPT）受験者

2024年	2019年
2,980人（年２回試験合計）	3,916人（年２回試験合計）

留学生データ

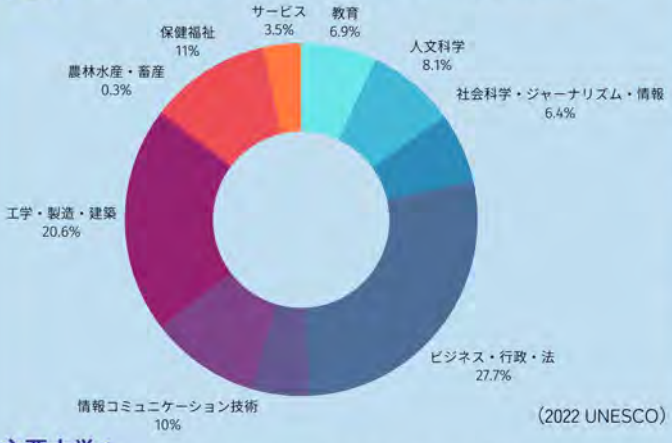


日本への留学生数
462人
（2024 日本学生支援機構）

海外への留学生数
20,000人
（2023 UNESCO）

海外留学生比率
N/A

高等教育修了生の分野別分布



（2022 UNESCO）

主要大学：
シンガポール国立大学（３位）、南洋理工大学（４位）、シンガポール・マネージメント大学（140位）
（QSアジア大学ランキング2025）

留学生の声

Lukeさん
立命館大学
グローバル教養学部

幼い頃から魅力を感じていた日本文化に触れ、四季のある生活を体験したかったため、日本留学を選びました。
言語の壁や学業と日本語の学習の両立に苦労しましたが、時間管理を工夫することで乗り越え、充実した日々を過ごすことができました。自立が求められ、家族と離れる海外留学は不安もありますが、努力を重ねることで、学びと冒険の両方を実りあるものにできると感じます。

タイ

タイ王国は東南アジアの中央に位置し、同地域で唯一、植民地支配を受けずに長い王朝の歴史を紡いできた国です。近年、日本とタイの関係は大きく発展し、タイは日系企業の一大拠点となっています。日本からタイへの訪問者は年間約105万人（2024年）に達し、タイには世界有数の在留邦人社会が形成されています。一方で、タイ人にとっても日本への親近感は年々高まっており、日本国内に居住するタイ人は約６万３千人（2024年）に上っています。

基本情報

◆人口　：7,166万人（2024 世界銀行）
◆首都　：バンコク
◆公用語：タイ語
◆宗教　：仏教 94%、イスラム教 5％
◆GDP成長率：2.5% (2024 世界銀行)
◆１人あたり名目GDP：$7,345 (2024 世界銀行)
ASEAN第４位/10カ国

教育制度・状況

6-3-3制。 高等教育は、総合大学（４年間）、ラチャパット大学（４年間：教員養成大学が前身）、職業高等専門学校（２～３年間、４年間）などがある。

総就学率

後期中等教育	高等教育
101.32%	48%

高等教育年齢人口

18-22歳
448万7千人
（2023 UNESCO）

英語教育

第一外国語として、初等教育1年次から英語（必修）を開始。

国際的な大学入試出願対応

・IBディプロマ（認定校30校）
International School Bangkok, NIST International School, KIS International School 等
・GCE-Aレベル
Harrow International School Bangkok, Rugby School Thailand 等

日本との関係

1960年代から大学に設けられた日本語講座に始まり、特にバンコクの総合大学を中心に日本語教育が行われてきました。
さらに、中等教育の第二外国語のひとつとして日本語が加えられたことや、タイ教育省による日本語教員の採用などにより、2021年度には、タイにおける日本語学習者は約18万４千人（世界第５位）となっています。

日本語学習者

世界５位
183,957人
（2021 日本語教育機関調査）

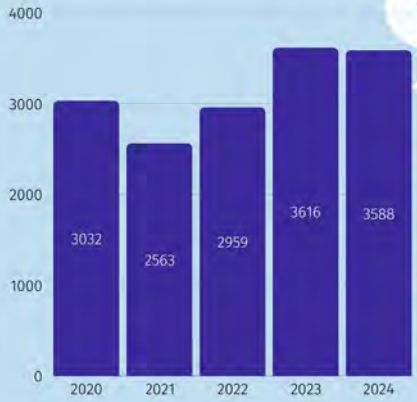
日系企業拠点数

6,083社
（2024 外務省）

日本語能力試験（JLPT）受験者

2024年	2019年
28,309人（年２回試験合計）	25,590人（年２回試験合計）

留学生データ



日本への留学生数

3,588人
（2024 日本学生支援機構）

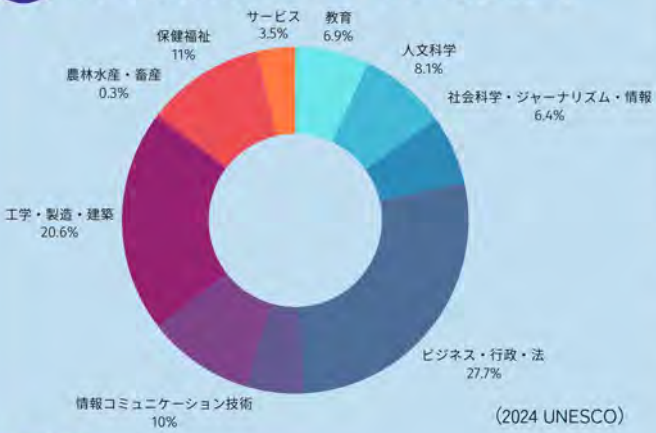
海外への留学生数

30,000人

海外留学生比率

１％
（2023 UNESCO）

高等教育修了生の分野別分布



（2024 UNESCO）

主要大学：

チュラロンコン大学（47位）、マヒドン大学（55位）、チェンマイ大学（108位）、キングモンクット工科大学トンブリー校（224位）、メーファールアン大学（661-680位）（QSアジア大学ランキング2025）

留学生の声

Ongsaさん
金沢大学
融合学域スマート創成科学類

高校時代に短期交換留学で日本を訪れ、日本の文化や生活スタイル、築いた友情に感動したこと、また日本の技術力にも憧れを抱き留学を決意しました。留学当初は、言葉の壁や文化の違いで友人を作ることに苦労をしましたが、体育の授業などを通じて自然な交流が生まれ、友人を作りながら日本語力も向上することができました。日本での留学生活を通して、多くの挑戦を経験し、学問的にも人間的にも大きく成長することができました。

ブルネイ・ダルサラーム

ブルネイ・ダルサラーム国は、東南アジアのボルネオ島（カリマンタン島）北部に位置する国で、豊かな天然資源と美しい自然に恵まれています。石油や天然ガスの輸出を基盤に、東南アジアではシンガポールに次ぐ高い経済水準と充実した社会福祉を実現しています。 さらに、治安の良さや自然災害の少なさに加え、豊かな観光資源を有することでも知られています。日本とブルネイは、エネルギー分野を中心に良好な関係を築いており、両国の協力は今後も発展が期待されています。

基本情報

◆人口　：46.2万人 （2024 世界銀行）
◆首都　：バンダル・スリ・ブガワン
◆公用語：マレー語
◆宗教　：イスラム教 82.1%、仏教 6.3%、
　　キリスト教 6.7%、その他 4.9%
◆GDP成長率：4.2% （2024 世界銀行）
◆１人あたり名目GDP：$33,417.8 (2024 世界銀行)
　　ASEAN第２位/10カ国

教育制度・状況

1-6-4制。高等教育は学士４年間。

総就学率

後期中等教育	高等教育
85.59%	38%

高等教育年齢人口

19-23歳
3万5千人
（2023 UNESCO）

英語教育

初等教育から英語が必修科目。

EN 国際的な大学入試出願対応

- **IBディプロマ（認定校２校）**
  International School Brunei, Jerudong International School
- **GCE-Aレベル**

日本との関係

2001年よりブルネイ・ダルサラーム大学言語センターで日本語教育が開始、2021年より教育省管轄の生涯教育センターで日本語講座が開講されています。また、公立高校および技術学校において、カリキュラム外活動として日本語クラブの活動が行われている。

日本語学習者

世界105位
148人
（2021 日本語教育機関調査）

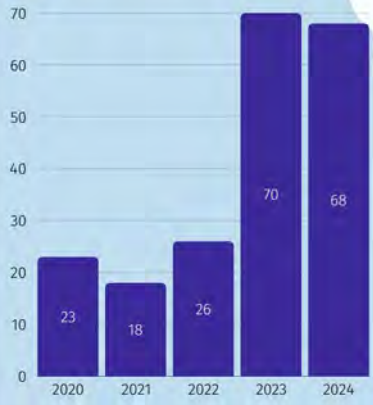
日系企業拠点数

21社
（2024 外務省）

日本語能力試験（JLPT）受験者

2024年	2019年
43人（年２回のみ）	50人（年２回のみ）

留学生データ



日本への留学生数

68人
（2024 日本学生支援機構）

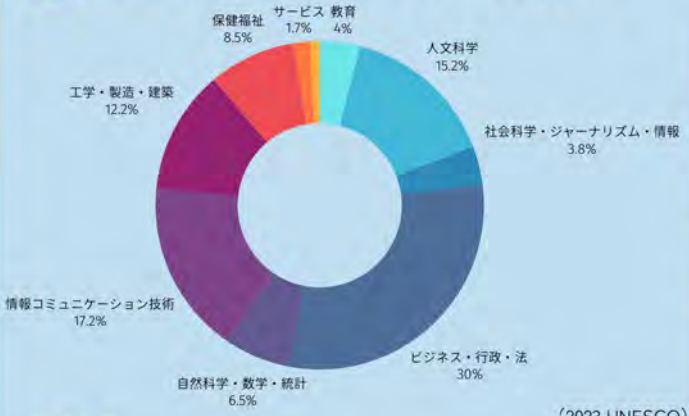
海外への留学生数

2,000人

海外留学生比率

23%
（2024 UNESCO）

高等教育修了生の分野別分布



（2023 UNESCO）

主要大学：
ブルネイ・ダルサラーム大学（78位）、
ブルネイ工科大学（134位）（QSアジア大学ランキング2025）

留学生の声

Syefaさん
上智大学
グローバルスタディーズ研究科

日本で生活するムスリムとして、食事や礼拝場所の確保に苦労しましたが、ハラール対応のレストランを調べたり、自炊を工夫したり、礼拝時間に合わせてスケジュールを調整することで対応しました。ライブ鑑賞や国内旅行を通じて日本語力を高め、日本人や外国人の友人を作り、自身のビジネスを立ち上げるとともに、関連企業でのインターンシップにも参加するなど、充実した留学生活を送っています。

ベトナム

ベトナム社会主義共和国はインドシナ半島東部に位置する社会主義国で、人口の約86%をベトナム民族（キン族）が占め、その他に53の少数民族が共存しています。
1973年の国交樹立以来、日本とベトナムは政治・経済の両面で関係を深めてきました。

基本情報

◆人口　：約１億98万人（2024 世界銀行）
◆首都　：ハノイ
◆公用語：ベトナム語
◆宗教　：仏教、カトリック、カオダイ教 等
◆GDP成長率：7.1% (2024 世界銀行)
◆１人あたり名目GDP：$4,717 (2024 世界銀行)
ASEAN第６位/10カ国

教育制度・状況

5-4-3制。初等教育５年間（６～11歳）、前期中等教育４年間（11～15歳）、後期中等教育３年間（15～18歳）。高等教育機関の短期大学は３年間、大学は４年間（医学部等は６年間）。

総就学率

後期中等教育	高等教育
88.18% (2022 UNESCO)	42% (2023 UNESCO)

高等教育年齢人口

18-22歳
691万人
(2023 UNESCO)

英語教育

高等教育のみならず初・中等教育においても英語などの外国語教育は重視されている。第一外国語、第二外国語のカリキュラムの両方が準備されているが、外国語として学ばれているのは英語が圧倒的な割合を占めている。

EN 国際的な大学入試出願対応

- **IBディプロマ（認定校20校）**
  International School Ho Chi Minh City, United Nations International School of Hanoi, International School of Vietnam 等
- **GCE-Aレベル**
  ABC International School, British Vietnamese International School 等

日本との関係

日本語教育は、初・中等、高等教育機関、学校教育以外の教育機関で行われています。2021年度には、日本語学習者は約16万９千人で世界６位です。
初等教育では2023年９月から、第一外国語として日本語教育が正式に承認されており、中等教育では日本語教育を実施している地域や学校数が年々増加傾向にあるなど、英語以外の外国語では日本語の存在感が高まっています。

日本語学習者

世界６位
169,582人
（2021 日本語教育機関調査）

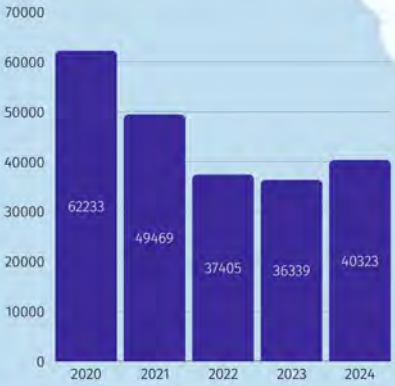
日系企業拠点数

2,543社
（2024 外務省）

日本語能力試験（JLPT）受験者

2024年	2019年
57,023人（年２回試験合計）	78,318人（年２回試験合計）

留学生データ



日本への留学生数

40,323人
（2024 日本学生支援機構）

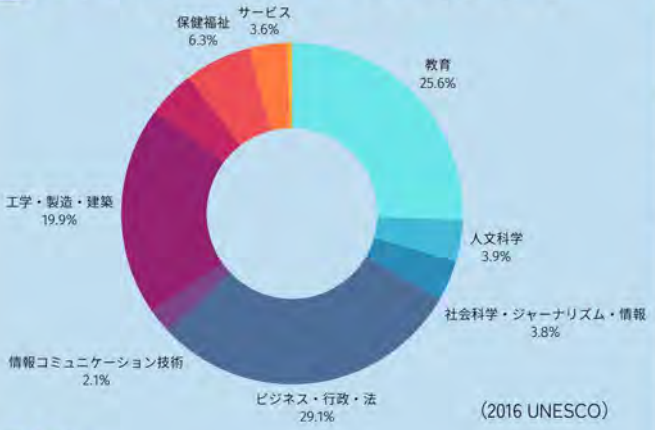
海外への留学生数

134,000人
(2021 UNESCO)

海外留学生比率

５％
(2023 UNESCO)

高等教育修了生の分野別分布



(2016 UNESCO)

主要大学：

ベトナム国家大学ハノイ校（161位）、ベトナム国家大学ホーチミン市校（184位）、ハノイ工科大学　（388位）、ダナン大学（421-430位）、カントー大学（521-540位）（QSアジア大学ランキング2025）

留学生の声

Thao Linhさん
岡山大学
グローバル・ディスカバリー・プログラム

留学先を検討する中で、学費の手頃さや奨学金制度の充実、高水準の教育環境という点で日本が最も理想的だと感じ、進学を決めました。
留学当初は慣れない環境に戸惑い孤独を感じることもありましたが、先生方や友人たちの支えで自信を持ち自立できるようになり、困難に向き合う力と支え合う大切さを学びました。
日本での留学は、学問的にも個人的にも成長につながる貴重な経験であり、ユニークな文化に触れながら、生涯の友人や大切なスキルを得ることができました。

ラオス

ラオス人民民主共和国はインドシナ半島に位置するメコン地域諸国のひとつで、ASEAN加盟国の中で唯一の内陸国です。メコン川を活用した水力発電が発達しており、エネルギー分野で重要な役割を担っています。 ラオスは伝統的に親日的な国であり、その背景には日本による継続的な支援があります。日本はダムや橋などの大型インフラ建設に加え、教育環境の整備、人材育成、保健医療サービスの改善など、幅広い分野で協力を進めてきました。こうした取り組みは、両国の信頼関係をさらに強固なものにしています。

基本情報

◆人口　：776.9万人 （2024 世界銀行）
◆首都　：ビエンチャン
◆公用語：ラオス語
◆宗教　：仏教
◆GDP成長率：7.3% (2024 世界銀行)
◆１人あたり名目GDP：$2,124 (2024 世界銀行)
ASEAN第９位/10カ国

教育制度・状況

2009年に前期中等教育が１年追加され、初等教育５年間、前期中等教育４年間、後期中等教育３年間の12年制。前期中等教育までの９年間が義務教育。高等教育は５年制であったが、2011年より４年制へ変更。

総就学率

後期中等教育	高等教育
40.63%	15%

高等教育年齢人口

18-22歳
71万7千人
(2023 UNESCO)

英語教育

初等教育カリキュラムでは、３年生から週約２時間の外国語教育（英語）を行っている。

EN 国際的な大学入試出願対応

- **IBディプロマ（認定校１校）**
  Vientiane International School
- **GCE-Aレベル**
  Kiettisack International School 等

日本との関係

ラオスは1965年に日本が初めてJICA海外協力隊を派遣した国で、日本語教育もJICA海外協力隊員によって始められました。市場経済化の動きが本格化した1990年代から日本政府による協力や日本企業の進出が拡大し、日本語ができる人材の需要が増え、日本語学習者も除々に増えてきています。

日本語学習者

世界38位
3,118人
（2021 日本語教育機関調査）

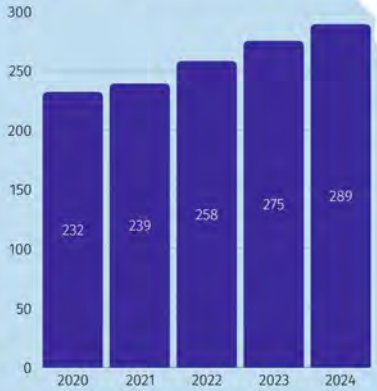
日系企業拠点数

145社
（2024 外務省）

日本語能力試験（JLPT）受験者

2024年	2019年
284人（年２回試験合計）	**252人**（年２回試験合計）

留学生データ



日本への留学生数

289人
（2024 日本学生支援機構）

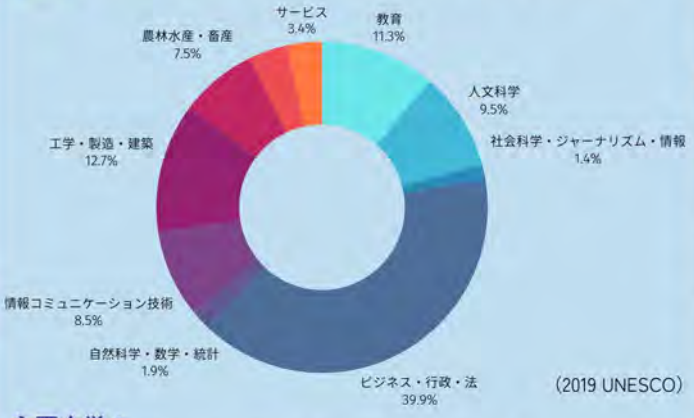
海外への留学生数

8,000人

海外留学生比率

10%
(2023 UNESCO)

高等教育修了生の分野別分布



(2019 UNESCO)

主要大学：
ラオス国立大学、ソパノボン大学、サバナケット大学、チャンパサック大学、保健科学大学

留学生の声

ロセコさん
新潟大学
大学院自然科学研究科

日本の先進技術や教育、文化に魅力を感じて留学を決意しました。
留学当初は言語の壁や孤独感に悩むこともありましたが、さまざまな活動への参加や、友人との交流を通じて日本語力を高め、困難を乗り越えることができました。
異文化に触れ、教育スタイルの違いを体験し、文化や旅行を楽しみながら新しい挑戦に取り組むことで、学問面だけでなく人間的にも大きく成長できたと感じています。

ミャンマー

ミャンマー連邦共和国は、東南アジアの西部に位置し、中国、ラオス、 タイ、バングラデシュ、インドと国境を接し、地政学的に重要な場所となっています。
日本とミャンマーは歴史的に良好な関係を築いてきました。
社会的混乱と経済低迷のため国を出て日本での就労や留学を目指す日本語学習者が激増しています。

基本情報

◆人口 ：5,45万人（2024 世界銀行）
◆首都 ：ネーピードー
◆公用語 ：ミャンマー語
◆宗教 ：仏教（90%）、キリスト教、イスラム教 等
◆GDP成長率：-1.0%（2024 世界銀行）
◆１人あたり名目GDP：$1,359（2024 世界銀行）
ASEAN第10位/10カ国

教育制度・状況

基礎教育は2023年より、11年間（5-4-5：５歳～15歳）から12年間（5-4-3：６歳～17歳）に延長された。高等教育は短期大学が２年間、大学は学部により異なり４～６年間である。

総就学率

後期中等教育	高等教育
60.61%	18.8%
(2023 UNESCO)	(2018 UNESCO)

高等教育年齢人口

16-20歳
457万3千人
(2023 UNESCO)

英語教育

初・中等教育における外国語教育は、基本、英語のみ。
高等教育においても英語以外の外国語は履修科目に含まれていない。

EN 国際的な大学入試出願対応

- **IBディプロマ（認定校５校）**
  The International School Yangon, Yangon American International School, Yangon International School 等
- **GCE-Aレベル 等**

日本との関係

日本語専攻課程としての日本語教育が行われているのは、ヤンゴン外国語大学とマンダレー外国語大学の２校のみです。
初・中等教育機関には第二外国語の授業がないため日本語教育も実施されていません。高等教育機関入学後あるいは学校教育終了後に日本語学習を開始する者が多いです。

日本語学習者

世界16位
19,124人
（2021 日本語教育機関調査）

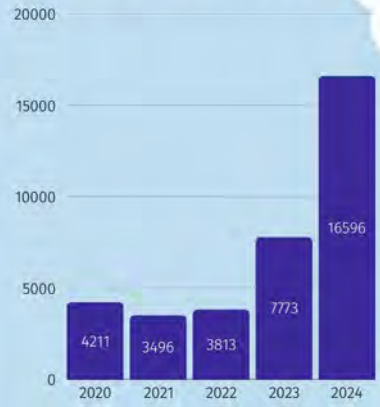
日系企業拠点数

317社
（2024 外務省）

日本語能力試験（JLPT）受験者

2024年	2019年
155,248人	52,604人
（年２回試験合計）	（年２回試験合計）

留学生データ



日本への留学生数

16596人
（2024 日本学生支援機構）

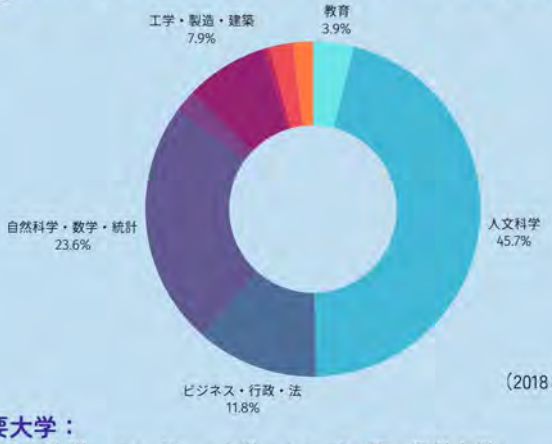
海外への留学生数

13,000人
（2023 UNESCO）

海外留学生比率

N/A

高等教育修了生の分野別分布



（2018 UNESCO）

主要大学：
ヤンゴン大学、マンダレー大学、ヤンゴン第一医科大学、ヤンゴン経済大学、ヤンゴン工科大学

留学生の声

THIN YADY SUさん
立命館アジア太平洋大学
サステナビリティ観光学部

日本はミャンマーでも国際的な留学先として広く知られており、豊かな文化と高い教育水準に惹かれて留学を決意しました。
言語の壁はありましたが、日本語を積極的に学び、周囲の支えや日常の会話を通じて、自信を持てるようになりました。日本での留学はとても新鮮な経験で、特に温かく迎えてくれる多文化的な環境に感動しました。

カンボジア

世界的にも有名な世界遺産アンコールワットのあるカンボジア王国は、インドシナ半島に位置しています。1970年代のポル・ポト政権による悲劇的な大量虐殺と、その後の内戦を経て、1993年に選挙が実施され、立憲君主制国家として新生カンボジアが誕生しました。 近年では、日系企業の進出が加速し、南部経済回廊を中心に物流網の整備が進んでいます。また、日本政府の支援で建設された橋がカンボジア紙幣に描かれるほど、日本とカンボジアは深い信頼関係を築いており、同国は親日国として広く知られています。

基本情報

◆人口　：1,763万人 （2024 世界銀行）
◆首都　：プノンペン
◆公用語：クメール語
◆宗教　：仏教
◆GDP成長率：６％ (2024 世界銀行)
◆１人あたり名目GDP：$2,627.9（2024 世界銀行）
ASEAN第８位/10カ国

教育制度・状況

6-3-3制。初等教育６年間、前期中等教育３年間、後期中等教育３年間、高等教育は一般に４年間。後期中等教育（高校）レベルの技術高校や職業訓練校がある。

総就学率

後期中等教育	高等教育
42.73%	18%

高等教育年齢人口

18-22歳
140万人
（2023 UNESCO）

英語教育

７年生（前期中等教育）より外国語（英語またはフランス語）が必修。

EN 国際的な大学入試出願対応

- **IBディプロマ（認定校６校）**
  International School of Phnom Penh, Australian International School Phnom Penh, Northbridge International School Cambodia 等
- **GCE-Aレベル**
  East West International School 等

日本との関係

内戦等の理由により、他のASEAN近隣諸国と比較してカンボジアにおける日本語教育の歴史は浅く、日本語教育はいまだ発展途上の段階で、まだ初級レベルの学習者が多数を占めています。王立プノンペン大学の日本語学科、私立アンコール大学の日本語コースなど、特にプノンペンとシェムリアップの２地域での日本語教育が充実し始めています。

日本語学習者

世界32位
3,874人
（2021 日本語教育機関調査）

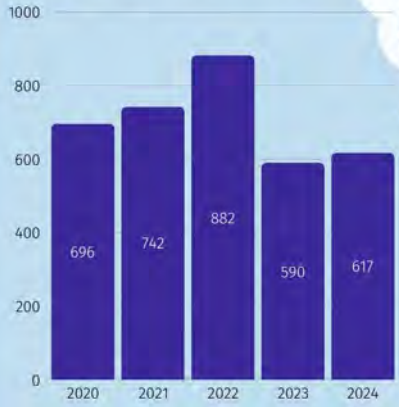
日系企業拠点数

425社
（2024 外務省）

日本語能力試験（JLPT）受験者

2024年	2019年
1,787人（年２回試験合計）	3,211人（年２回試験合計）

留学生データ



日本への留学生数

617人
（2024 日本学生支援機構）

海外への留学生数

7,000人

海外留学生比率

4％
（2023 UNESCO）

高等教育修了生の分野別分布

（2019 UNESCO）

主要大学：
王立プノンペン大学、パニャサストラ大学、カンボジア農業大学、カンボジア大学、カンボジア工科大学

留学生の声

Henryさん
筑波大学
人文社会科学研究群・国際公共政策

国際関係と日本語を学んだ経験から、日本の高い学問水準と研究環境に魅力を感じ、日本留学を決意しました。
また、日本文化を現地で体験しながら理解を深めたいという思いもありました。来日当初は日本語の運用に苦労しましたが、その経験が大きな学びとなり、今では自信を持って生活できるようになりました。日本での留学生活は学問的にも文化的にも非常に充実しており、今後の研究やキャリアにとって大きな財産になると感じています。

日本留学促進のための海外ネットワーク機能強化事業（東南アジア）

国立大学法人岡山大学 企画部 国際企画課
〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中二丁目１番１号
TEL: 086-251-8937
E-mail: studyinjapan@adm.okayama-u.ac.jp
Website: https://studyinjapan-asean.jp/
Instagram: https://www.instagram.com/studyinjapan_asean/

当事業SNSリンク集

2026年1月発行